



まなび将棋

まなび将棋教室 大井町



あそびからまなびへ



〈竜馬将棋〉

9×9の平原を駆け巡れ！王VS竜馬の鬼ごっこ♦つかまるか？逃げ切るか！

本将棋を指す上で大切な「王手は追う手」「玉は包むように寄せよ」という2つの格言の意味を、体験しながら学んでいきます。

〈青空将棋〉

雲一つない青空。歩一つない青空。さえぎるものが何もないから、はじめから相手の駒を取り放題！

本将棋を指す上でまず必要な「駒を取る」「駒を成る」を出来るようになるために最適な教材です。

〈はさみ将棋〉

使う駒は「歩」「と」だけ。相手の駒をはさめば取れる、単純明快なルール。でも、「次を取るよ」では相手にも見抜かれる…。次の次を取れるようにするにはどうしたら良い？

本将棋に大切な「3手の読み」の考え方を身につけていきます。

〈6×6将棋〉

駒のまち 秋田県天童市。天童商工会議所と、尚絅学院大学教授松田道雄氏が発案した6×6=36マスの盤で行う将棋です。

最大の特徴は、駒の初期配置を相手との駆け引きの中で決めること。本将棋とはまた違った、高い戦略性が求められます。

〈リレー将棋〉

将棋と言えば、1対1の個人競技。それをチーム競技にしてみよう！ただし、対局中にチーム内での会話は一切禁止。どうやってコミュニケーションを取るの？それは、盤上の指し手で話すのです。

指し手の意味を考え、点ではなく線をつないでいく思考が養われます。

〈ついたて将棋〉

それぞれの対局者の前には、1枚の盤とそこに並べられた自陣の駒達。そして両対局者の間には、大きなついたて。相手の駒の動きは全く見えないまま、対局を進めていきます。

見えない駒を推測し、頭の中で再生する。将棋を強くなるためには必須である「脳内盤」が構築されていきます。